

9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1



高二月十日申午

之

江戶

伊勢

秋

伊

伊

伊

伊

伊

伊

伊

伊

伊

伊

伊

伊

伊

伊

老をいし 独り人へ

よりいし 又と私に

あつとをいし 休や

いし 定むる妻の味を

いし 月竹を 定むる

いし ねを

在のさうい 年更わ

いし 空を 自無を

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

いし ねを

折...
...

...
...

二代男...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

りてし水たを

胃を養ふは去年

ありて

百草移りて

てし

難く扱お敷く

てし

ある是の因この

てし

種は

の如く

の如く

○二代男

の如く

の如く

の如く

の如く

の如く

の如く

の如く

此の如く
是との
心
石
長
燦
殊
ら
欽
白
富

山
字
水

三月

百

此の如く
是との
心
石
長
燦
殊
ら
欽
白
富

此の如く
是との
心
石
長
燦
殊
ら
欽
白
富

予秋乃山家山後...
 去社思...
 年...
 ...

良家の月...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

俗稱淺見
 号水仙名
 画名
 ...

二代...
 ...
 ...
 ...
 ...

〇 古代...
 ...
 ...

〇 南...
 ...
 ...

〇 新刻...
 ...

小弟...
 ...

二代昂の少己の行を
あねの行を
少己の行を
少己の行を
少己の行を
少己の行を
少己の行を
少己の行を
少己の行を
少己の行を

○ 古代街の賣り手
宝船翻刻

○ 南畝末の羽書枝折則 四方赤良

○ 新刻稗史二種
小弟京山作
是ハ一時ノ
沙急のし

石ハ手ニトニ有るもの
晋上仕の道ノ何ノ
古音と云ふもの